ハローワーク宇都宮 就職支援業務報告(令和3年度)

1 所長による分析(業務運営の総括)

(1) 特に重点的に取り組んだ事項

① 各指標に対する取組

当所においては、ハローワークを利用していない求職者などに対する「ハローワークの利用促進」を積極的に実施し、就職件数に結びつける取組みを重点的に行いました。

就職件数等については、求職者マイページの利用促進の取組み、各種支援窓口・コーナーのオンラインによる就職活動セミナーや職場見学会・企業説明会の開催など、ハローワークの利用勧奨を積極的に行ないましたが、新型コロナウイルス感染症の影響による事業所訪問の中断時期もあり、求人申込件数が減少したため、過去3年度平均に達することはできませんでした。

一方、社会的要請が高まっている就職氷河期世代への支援については、助成金活用を含めた求人開拓を積極的に行い 1,390 件の求人を受理、175 件の就職につながりました。(前年度就職件数 6 件)

② 中長期的な職員の資質向上に向けた取組

当所では、職員・相談員の専門性の向上ため、オンライン職業相談のスキル向上や、労働法に係る所内研修を行いました。 また、窓口対応時における困難事例が増えていることから、個別事例検討会を開催して、対処能力の向上を図りました。

(2) サービス改善・業務改善を図った事項

ハローワークを利用していない求職者や来所を希望しない求職者に対する改善策として、オンラインによる就職支援セミナーを 49 回 開催し、205名の参加を得るとともに、初めて職業訓練オンライン説明会を2回開催し、101名の参加がありました。

また、まん延防止等重点措置期間中は、オンラインによる企業説明会及び面接会を4回開催し、46名が参加、14名の就職につながりました。

来所困難な求職者を対象としたオンライン職業相談については、就職氷河期世代に対して2件、精神障害者・難病患者・がん患者等に対して37件、都内などの大学に通っている学生等に対して735件の計774件を実施と前年度実績の12件に比べ大幅に増加しました。

求人者に対しては、オンラインにより自主応募が受けられること等の求人者マイページのメリットの周知を求人更新案内と併せて実施 したことから、マイページ開設率 57.6%となりました。(全国平均 43.8%)

求職者に対しては、総合受付でマイページのリーフレットを配付の上、職員が仮登録からマイページ開設までを個別に説明することにより、マイページ開設率 34.4%となりました。(全国平均 25.5%)

(3) 今年度見えてきた課題とそれを踏まえた今後のサービス・業務改善の取組について

令和3年度は、紹介件数が大幅に減少したことにより就職件数、充足件数ともに低迷したことから、令和4年度は、SNSによる広範な周知を含むハローワークの支援サービスの更なる周知と、所内ミニ面接会等の就職につながるイベントの開催及びオンラインによる就職支援セミナーやオンライン職業相談等に引き続き積極的に取り組みます。

障害者への就職支援については、精神障害者雇用トータルサポーターの利用促進策として、県内各ハローワーク利用者に対する定期的なオンライン相談を新たに実施します。

求人者に対しては、求人票以上の情報収集や求人者との信頼関係の構築並びに求職者のニーズに合った求人開拓を積極的実施するため に事業所訪問を強化します。

加えて、マッチング力向上のために、求人者支援員を職業相談部門各窓口毎の担当者制とし、所内の連携を強化して、求人開拓や条件緩和並びに面接会や見学会を積極的に実施します。

(4) その他業務運営についての分析等

職員・相談員の所内研修のニーズを把握し、必要性の高い実務研修や困難事例検討を行ったことで相談スキルの向上が図られましたが、 今後は担当者制などの個別支援が必要な求職者が増えることが予想されることから個別の事例検討や専門性の高い相談技法の習得などの 研修を実施し、個々の能力の向上を目指します。

	就職件数	充足件数 (受理地)	雇用保険受給者早期再就職件数	紹介率	ハローワークの 職業紹介によ り、正社員に結 びついた就職 氷河期世代の 不安定就労者・ 無業者の件数	正社員求人数	正社員就職 件数	生活保護受 給者等の就 職率	障害者の就 職件数	マザーズハロー ワーク事業にお ける担当者制に よる就職支援を 受けた重点支援 対象者の就職率	生涯現役支援 窓口での 65歳 以上の就職件 数
令和3年度実績	6,328	6,792	1,825	110.1%	773	28,718	2,886	57.6%	701	93.8%	148
過去3年度平均	7,370	7,731	1,911	122.0%	548	29,486	3,506	68.0%	617	94.0%	119
R2年度実績	6,333	6,630	1,664	117.9%	548	25,776	2,877	66.9%	626	94.0%	139
対 R2 比	99%	102%	109%	93%	141%	111%	100%	86%	111%	99%	106%
R1年度実績	7,525	7,976	1,976	121.0%	_	30,442	3,533	67.8%	634	94.4%	122
対 R1 比	84%	85%	92%	90%	_	94%	81%	84%	110%	99%	121%
H30 年度実績	8,251	8,587	2,092	127.9%	-	32,240	4,108	69.0%	590	92.3%	96
対 H30 比	76%	79%	87%	86%	_	89%	70%	83%	118%	101%	154%

[※] 令和3年9月以降の実績は、就職件数は「(従来の)紹介就職」及び「オンライン紹介による就職」の合計件数、充足件数は「(従来の)紹介就職」、「オンライン紹介による就職」及び「オンライン自主応募による就職」によるハローワーク求人の充足件数の合計となっている。

ハローワーク鹿沼 就職支援業務報告(令和3年度)

1 所長による分析(業務運営の総括)

(1) 特に重点的に取り組んだ事項

① 各指標に対する取組

「就職件数」及び「雇用保険受給者の早期再就職」の向上を目指し重点的に取り組みました。具体的には、求職者担当者制により支援対象者との信頼関係を構築し、支援対象者の課題やニーズを把握することで支援メニューの中から的確な支援を実施することで就職に結びつけることができました。また、郵送や電話、求職者マイページを活用し求人情報を送付することで積極的に来所勧奨を行いました。

雇用保険受給者の早期再就職の実現のため、初回認定日の受給者の認定時間を午後に、初回認定日以外の受給者の認定時間を午前中に設定し、相談時間の確保を図るとともに、再就職シミュレーションシート等により早期再就職のメリットを説明しました。

② 中長期的な職員の資質向上に向けた取組

当所では、中長期的な職員の育成を図る観点から、「応募書類の作成支援」、「職業訓練制度」、「ハローワークシステム刷新に係る研修」といった職業相談業務に係る所内研修を実施しました。

(2) サービス改善・業務改善を図った事項

求職者へのサービス向上の一環として、求職活動を容易にするツールの一つである求職者マイページの開設勧奨を積極的に行いました。求職者マイページの開設勧奨を行うにあたり、当所独自の実施要領を策定、取組を強化するとともに、来所者端末に求職者マイページに係るポップ表示を掲示したり、開設を希望する求職者を来所者端末に案内し、開設完了までのサポートを行いました。

求人者に対しては求人活動を容易にし、来所しなくても求人を提出できるツールである求人者マイページの開設勧奨を積極的に行いました。 求人の更新案内を送付する際、求人者マイページ開設に係る案内文を同封し、開設勧奨を行いました。

コロナ禍もあり、求職者マイページ、求人者マイページの開設は大幅に増加し、利用者が増えました。

(3) 今年度見えてきた課題とそれを踏まえた今後のサービス・業務改善の取組について

新型コロナウイルス感染の収束が見通せない状況において、さらなるオンライン化を図る必要があることに鑑み、求人者・求職者マイページの開設勧奨及びマイページを活用したオンライン紹介に力を入れる必要があります。オンライン利用に比較的抵抗が少ないと思われる若年者や就職氷河期世代を中心に求職者担当者制を実施するとともに、担当者制の支援の一環としてオンライン紹介を実施します。

(4) その他業務運営についての分析等

令和3年度は、新型コロナウイルス感染症の影響もあり、有効求職者数が令和3年8月以降、8ヶ月連続して前年同月比で減少しました。 雇用保険受給者は令和3年4月以降、12ヶ月連続で前年同月比で減少しました。大規模な雇用調整等の情報はなく、減少傾向は今後も続く ことが予想されます。

	就職件数	充足件数 (受理地)	雇用保険受給者 早期再就職件数	紹介率	ハローワークの職業紹介により、正社員に結びついた就職氷河期世代の不安定就労者・無業者の件数	正社員求人数	正社員就職件数	
令和3年度実績	1, 069件	1, 045件	347件	97. 5%	195件	4, 516人	507件	
過去3年度平均	1, 286件	1, 211件	355件	113. 0%	102件	4, 195件	636件	
R2年度実績	1, 090件	1, 046件	305件	104. 1%	102件	3, 861件	511件	
対 R2 比	98%	99%	113%	93%	191%	116%	99%	
R1年度実績	1, 314件	1, 241件	337件	115. 0%	_	4, 338件	638件	
対 R1 比	81%	84%	102%	84%	_	104%	79%	
H30 年度実績	1, 455件	1, 347件	422件	118. 6%	-	4, 385件	759件	
対 H30 比	73%	77%	82%	82%	_	102%	66%	

[※] 令和3年9月以降の実績は、就職件数は「(従来の)紹介就職」及び「オンライン紹介による就職」の合計件数、充足件数は「(従来の)紹介就職」、「オンライン紹介による就職」及び「オンライン自主応募による就職」によるハローワーク求人の充足件数の合計となっている。

ハローワーク栃木 就職支援業務報告(令和3年度)

1 所長による分析(業務運営の総括)

(1) 特に重点的に取り組んだ事項

① 各指標に対する取組

当所では、「求人の確保」及び「就職の促進」を最重要と考え、「求人担当職員による電話による求人開拓」、「求人票以外の求人事業所情報の収集とその活用」、「就職件数(常用)の増加対策」の取組を行いました。

「求人担当者による電話による求人開拓」については、新型コロナウイルス感染症の感染拡大を踏まえ、直接の訪問による求人開拓が困難な状況であったことから、求人担当職員が中心となり更新予定の求人事業所に対して電話による個別の求人勧奨を実施しました。その際、昨今の情勢を踏まえた各事業所の雇用状況について確認し情報収集を行いました。また、求人者マイページ開設の案内及び開設方法を説明のうえマイページからの求人申し込みを勧奨し、令和3年度当初約10%前後であったマイページからの求人申し込みを、年度末には50%以上にまで引き上げることができました。

「求人票以外の求人事業所情報の収集とその活用」については、求人充足担当者が中心となり、情報収集後速やかに職業相談部門の全職員に対して当該情報を提供し、提供を受けた職業相談部門の職員は、担当者制による個別支援を実施している求職者に対して応募勧奨を行うとともに、求職者が希望しなかった場合等の理由について求人者に対してフィードバックし、充足可能性が高まるよう改善の提案を行う取り組みを行いました。

「就職件数(常用)の増加対策」については、例年実施していた管内の地方公共団体及び商工会議所との共催による合同面接会について、新型コロナウイルス感染症の拡大により令和2年度に続き令和3年度も開催中止となったことから、個別の求人事業所での職場見学及び面接を行う「職場見学会&ミニ面接会」を7事業所で実施し、参加者37名、採用者9名の実績がありました。

② 中長期的な職員の資質向上に向けた取組

職員の資質向上に向けた取組として、「職場見学会&ミニ面接会」を開催する際、職員が実施事業所を訪問し参加求職者の受付を行うとともに、併せて職場見学や求人票以上の情報収集を行いました。令和3年度は7事業所に、延べ14名の職員が訪問し紹介に資する情報収集を実施しました。

(2) サービス改善・業務改善を図った事項

ハローワーク総合評価に係る目的や考え方については、全職員の認識を共有することが重要であることから、年度初めに所長から全職員に対して雇用失業情勢や昨年度の当所の取り扱い状況等について説明した上で令和3年度における取り組み方針について指示を行うとともに、日々の進捗状況や具体的な業務実施方法については、職業相談部門と求人・専門援助部門合同によるミーティングを随時実施し、統括官から全員に対して指示を行うことで、より迅速かつ的確な業務の遂行を図りました。また、職業訓練が必要である求職者の的確な誘導として、従来雇用保険説明時に配付していた「職業訓練の募集案内」について令和3年度は雇用保険説明会が中止となり配付できなくなってしまったことから、令和3年8月からは新規求職申込時に受付で案内を配付し、窓口相談対応時に訓練について簡単な説明を行い、詳細な説明を希望する場合は、訓練担当者につなぐよう対応を変更しました。

(3) 今年度見えてきた課題とそれを踏まえた今後のサービス・業務改善の取組について

当所の令和3年度の新規求職申込件数のうち、55歳以上の求職者は33.8%を占めており、県全体の数字(32.4%)より高い傾向が続いており、高齢者の雇用促進が課題となっています。今後は「生涯現役支援窓口」を有効活用し、これまで以上に高齢者向けセミナーや高齢者の採用意欲が高い事業所によるミニ面接会を積極的に開催する等、就職の促進を図るとともに、新型コロナウイルス感染状況に留意しつつ、あらゆる機会を捉えて多くの事業所に対して高齢者の積極的な採用の働きかけを図ることとします。また、ハローワークシステム刷新の趣旨を踏まえ、当所窓口を利用する求職者に対して「課題解決支援サービス」の強化がこれまで以上に重要であるとの認識のもと、求職者担当者制を通じた日々の窓口業務の強化を図りつつ、就職に向けて個々の課題の解決に向けた支援について、効果的・効率的に実施してまいります。

(4) その他業務運営についての分析等

雇用保険受給者の再就職支援の強化のため、職業紹介部門(職業相談部門+求人・専門援助部門)と雇用保険部門とのさらなる連携強化を図り、職業相談窓口において失業認定申告書を確認し安定所紹介によらず応募している受給者に対して積極的に求人情報を提供し、早期就職の可能性を高めるような相談を実施していきます。

	就職件数	充足件数 (受理地)	雇用保険受給者 早期再就職件数	紹介率	ハローワークの紹 介により、正社員 に結びついた就職 氷河期世代の不安 定就労者・無業者 の件数	正社員求人数	正社員就職件数	生涯現役支援窓口 での65歳以上の 就職件数
令和3年度実績 	1882	1933	616	100. 8%	312	7180	877	52
過去3年度平均	1804	1877	683	103. 0%	240	5841	862	54
R2年度実績	1598	1660	657	98. 0%	240	5522	758	50
対 R2 比	117%	116%	93%	102%	130%	130%	115%	104%
R1年度実績	1856	1939	667	102. 9%	-	5900	871	58
対 R1 比	101%	99%	92%	97%	_	121%	100%	89%
H30 年度実績	1959	2033	724	109. 1%	-	6102	956	-
対 H30 比	96%	95%	85%	92%	_	117%	91%	_

[※] 令和3年9月以降の実績は、就職件数は「(従来の)紹介就職」及び「オンライン紹介による就職」の合計件数、充足件数は「(従来の)紹介就職」、「オンライン紹介による就職」及び「オンライン自主応募による就職」によるハローワーク求人の充足件数の合計となっている。

ハローワーク佐野 就職支援業務報告(令和3年度)

1 所長による分析(業務運営の総括)

(1) 特に重点的に取り組んだ事項

① 各指標に対する取組

当所では、求職者に対する就職支援の更なる強化を図るため、主要指標のうち「就職件数」を最重点とした取り組みを行いました。

具体的には、求職者担当者制の積極的な実施により、支援対象者と信頼関係を構築し、一人一人の課題やニーズを的確に把握することで、 支援メニューの中からその方に適した支援を行うことができ、就職に結びつけることができました。

また、コロナ禍の状況を踏まえ、求職者に対して郵送・電話・求職者マイページを活用して、求人情報を積極的に発信したほか、感染防止対策を徹底した上で、ミニ面接会を8回、合同就職面接会を1回開催しました。

② 中長期的な職員の資質向上に向けた取組

職員の資質向上は、あらゆる業務の基本であり、サービス改善に繋がるため、職員研修等により、職務を遂行する上で必要な専門的知識と 技能の習得を図っています。

令和3年度は、ハローワークシステム刷新に伴うオンライン機能の充実に伴い、多様なニーズに合わせた支援を行えるよう、「ハローワーク利用登録者とオンライン登録者の違い」や「オンラインハローワーク紹介とオンライン自主応募の違い」等について、若手職員を講師として研修を行いました。また、今後、利用の増加が見込まれるオンライン職業相談について、労働局が開催した勉強会に出席し、出席者による伝達研修を行いました。

さらに、デジタル化の進展や職業人生の長期化など、労働者を取り巻く環境が大きく変化していく中で、求職者に対して必要な職業能力開発の機会を提供し、安定的な雇用への円滑な移行を促進するため、職業訓練実施機関の担当者を講師として、公的職業訓練制度についての研修を行いました。

(2) サービス改善・業務改善を図った事項

来所者呼出機の刷新に伴い、総合受付ではハローワーク受付票を預からず、窓口において本人確認を行うこととし、個人情報漏えい防止の 徹底と効率的な窓口対応に努めました。従来の来所者呼出機のディスプレイでは、相談窓口全体の待ち人数しか表示できませんでしたが、相 談内容別に表示できるようになったため、来所者が相談内容別に待ち人数を把握できるようになりました。

また、求職者に対するハローワークの支援メニューの説明を標準化するため、当所の支援メニューに加え、求職活動に役立つ情報(職業情報提供サイト(日本版 0-NET)・就職活動の進め方)を掲載した「ハローワーク佐野利用ガイド」(以下「利用ガイド」という。)を作成しまし

た。利用ガイドは、初めて来所された求職者及び来所者端末の利用者に対して、総合受付及び相談窓口において、説明と併せて手交し、ハローワークサービスの利用促進を図りました。

(3) 今年度見えてきた課題とそれを踏まえた今後のサービス・業務改善の取組について

ハローワークシステムのオンライン機能の充実に伴い、求人者・求職者の多様なニーズに合わせた支援を行うために、求職者マイページの開設促進が課題となっています。求職者マイページの利用促進に向けては、所内掲示板や待合席等に掲示した案内により周知するとともに、総合受付及び相談窓口おいてリーフレットを手交し、メリット等を丁寧に説明して開設を勧奨しましたが、令和4年3月末現在の当所の求職者マイページ開設率は10.4%と低調であるため、次年度については、求職者マイページに特化した操作ガイド等を作成し、より一層の開設促進に努めてまいります。

また、職員の資質向上に向けて、職業相談担当者の職業理解を深めるための取り組みとして、計画的な事業所訪問を実施し、職務内容や求人者の考え方などを把握し理解することで、求人の提案など能動的なマッチングを図ってまいります。

(4) その他業務運営についての分析等

今年度については、新型コロナウイルス感染症の感染拡大による緊急事態宣言の発出及びまん延防止等重点措置の実施により、極力、来所を求めない対応を行ったことや、クラスター発生により濃厚接触者が増加し外出制限になるケースが増加したことに加え、保育園や学校の休校等で就職活動を控えた求職者が多かったこと、また、感染拡大防止のため、積極的な事業所訪問及び面接会等の取組が制限されたことが、業務運営に大きく影響しました。

2年ぶりに開催した佐野市との合同就職面接会についても、クラスター発生のリスクが高いと危惧されたことから敬遠され、参加者が少なかったことも就職件数が伸びなかった要因の一つと考えます。

	就職件数	充足件数 (受理地)	雇用保険受給者 早期再就職件数	紹介率	ハローワークの職業紹介により、正社員に結びついた就職氷河期世代の不安定就労者・無業者の件数	正社員求人数	正社員就職件数	
令和3年度実績	1,380	1,211	431	99.0%	196	3,652	608	
過去3年度平均	1,638	1,350	492	113.0%	145	3,740	795	
R2年度実績	1,452	1,166	427	110.1%	145	3,176	723	
対 R2 比	95%	103%	100%	89%	135%	114%	84%	
R1年度実績	1,680	1,404	511	109.9%	-	3,944	821	
対 R1 比	82%	86%	84%	90%	_	92%	74%	
H30 年度実績	1,781	1,481	538	118.6%	-	4,101	841	
対 H30 比	77%	81%	80%	83%	_	89%	72%	

[※] 令和3年9月以降の実績は、就職件数は「(従来の)紹介就職」及び「オンライン紹介による就職」の合計件数、充足件数は「(従来の)紹介就職」、「オンライン紹介による就職」及び「オンライン自主応募による就職」によるハローワーク求人の充足件数の合計となっている。

ハローワーク足利 就職支援業務報告(令和3年度)

1 所長による分析(業務運営の総括)

(1) 特に重点的に取り組んだ事項

当所では、就職氷河期世代や新型コロナウイルス感染症の影響により求職活動を余儀なくされた求職者への就職支援を重点的に取り組んだ。 就職氷河期世代については、求職者の意識を高めるため正社員雇用を目指す環境を作るよう努め、主に求職者担当者制による支援のほか就 職支援セミナー等への誘導も行った。求人確保については、求人担当と紹介担当で情報交換・情報共有を欠かさず、その内容を踏まえ就職氷 河期世代を対象とした求人の確保、マッチングに取り組んだ。その結果、就職氷河期世代歓迎求人数813(令和4年3月末時点)確保、充 足数は103(令和4年3月末時点)、就職件数は239件(令和4年3月末時点)となった。

新型コロナウイルス感染症の影響により求職活動を余儀なくされた求職者への支援は、求人確保の取り組みとして、求人者支援員が接触したことのある事業所に対して、電話や FAX によりハローワークインターネットサービスによる求人者マイページ開設を勧奨し、インターネットを通じた求人提出を促した。求人確保後は、ミニ企業説明会(面接会)の開催環境を整え可能な限り実施した。職業相談・紹介に関しては、求職者担当者制を軸として状況に応じた支援とあわせて求職者マイページを活用する就職支援を案内した。また、コロナ禍での対応として電話相談を提案、実施した。

いずれも、職業相談部門と求人・専門援助部門が連携を図り、求人開拓/確保⇒来所勧奨⇒マッチング⇒就職と繋がりある取組を行った。

(2) サービス改善・業務改善を図った事項

- ・職業相談部門及び求人・専門援助部門の受付方法を見直し、総合受付では書類を一切預からず番号札と持参された書類をチャック付きのファイルに入れ来所者へ渡し、番号で呼ばれた窓口でファイルを提出して頂くことで個人情報管理の徹底を図った。
- ・求人者、求職者マイページをわかりやすく整理し 1 枚にまとめたリーフレットを作成配布したことで、マイページ開設を相談されるケースも多く見受けられた。
- ・求職者から相談しやすい環境作りとして、応募書類の書き方や面接指導が受けられる旨のポスターを所内の椅子などに貼り出した。さらに、就職支援セミナーや職業訓練説明会の案内表示を受付カウンターに設置し、求職活動の実績になることを P R した。
- ・ミニ企業説明会(面接会)の周知方法に、管理課待合室内の看板設置やハローワークインターネットサービスへの情報掲載を追加した。その結果、求職者からの問い合わせが増加した。

・職業相談窓口において全ての求職者に対し職業訓練の案内をしたことで、その相談をきっかけに職業訓練を希望したケースもあり一定の 効果が見られた。

(3) 今年度見えてきた課題とそれを踏まえた今後のサービス・業務改善の取組について

- ・新規求職申込みの早い段階から求人情報提供(ハローワークインターネットサービス)等の支援メニューを説明・実施していくために、求職者マイページのメリットを説明できるよう窓口職員の理解を深め、個人差のあるサービスにならないよう体制を確立する。
- ・新型コロナウイルス感染防止のため開催を控えている雇用保険受給者に対しての初回講習会について、講習会再開や個別講習資料の充実 を検討していく。
- ・ミニ企業説明会(面接会)は求人者からの要望が多くあるため、新型コロナウイルス感染防止対策を行いながら実施計画を立てていく。また、能動的な開催にも力を入れていく。
- ・新型コロナウイルス感染状況を踏まえて、求人者・求職者のそれぞれの課題とニーズに対して、来所相談・電話相談・オンライン相談等の 対応策が提示できるよう、ミーティングや研修を通して窓口職員の共通理解と体制作りをしていく。

(4) その他業務運営についての分析等

- ・足利市と連携を図り、子育てに理解のある企業との合同面接会を11月に開催した。コロナ禍もあって8名の参加に止まったが、より面談時間を確保できたことで3名の採用に繋がった。また、雇用環境・均等室の協力により、仕事と育児の両立支援制度等について事業所・求職者の相談を受けられる機会を設けた。その他、足利市公式ホームページ及びインスタグラムにおいて、ハローワークの紹介と利用者の感想等が掲載され、多くの子育で期の方の目に留まりハローワークの利用勧奨にも繋がった。
- ・佐野市との連携により、子育て中の方を対象としたマザーズ出張相談・再就職支援セミナーを実施した。実施場所を見直し令和3年度からは親子で遊びにくる「こどもの国」での実施としたところ、コロナ禍でも参加者が増加した。
- ・毎年開催していた足利労政事務所・足利市・佐野市・佐野公共職業安定所共催による合同面接会を新型コロナウイルス感染症の影響により開催を見合わせたため、足利労政事務所が開催した事業所説明会の周知に協力し、参加者のハローワーク利用等誘導を含めて連携を図った。
- ・群馬県南東部と栃木県南西部(以下「両毛地域」という。)は、同一労働市場圏であるため、群馬局の桐生・太田・館林公共職業安定所と栃木局の佐野・足利公共職業安定所5所で、局・管轄を超えた連携を図ることを目的に「両毛地域ハローワーク連絡会議」を開催した。今年度の連携として、両毛地域の職業訓練コース開催情報を定期的に発行し各所で活用することで、職業訓練校への送り出し強化を図った。

	就職件数	充足件数 (受理地)	雇用保険受給者 早期再就職件数	紹介率	ハローワークの職業 紹介により、正社員に 結びついた就職氷河 期世代の不安定就労 者・無業者の件数	正社員求人数	正社員就職件数	生活保護受給者等 の就職率	
令和3年度実績	1,455	1,502	470	90.7%	239	5,442	694	68.0%	
過去3年度平均	1,734	1,734	553	112.0%	40	5,314	850	75.0%	
R2年度実績	1,480	1,509	554	99.4%	40	4,793	736	85.1%	
対 R2 比	98%	99%	84%	91%	597%	113%	94%	79%	
R1年度実績	1,778	1,750	533	111.9%	-	5,390	859	70.0%	
対 R1 比	81%	85%	88%	81%	_	100%	80%	97%	
H30 年度実績	1,943	1,944	572	123.8%	-	5,759	956	68.7%	
対 H30 比	74%	77%	82%	73%	_	94%	72%	98%	

[※] 令和3年9月以降の実績は、就職件数は「(従来の)紹介就職」及び「オンライン紹介による就職」の合計件数、充足件数は「(従来の)紹介就職」、「オンライン紹介による就職」及び「オンライン自主応募による就職」によるハローワーク求人の充足件数の合計となっている。

ハローワーク真岡 就職支援業務報告(令和3年度)

1 所長による分析(業務運営の総括)

(1) 特に重点的に取り組んだ事項

① 各指標に対する取組

当所では、コロナ禍における雇用情勢の変化に対応するため、マッチング機能の強化等による求職者サービスを維持しつつ「求人の確保」「担当者制による就職促進」に重点を置き、求職者担当者制、来所勧奨型紹介、提案型紹介、などを積極的に取り組んだ。

また、求人に関しては、積極的な事業所訪問ができない状況であったため、電話等による積極的な求人勧奨及び、求人者マイページ開設などの求人者サービスを展開した。

なおコロナ禍で令和 2 年度は開催困難だったミニ面接会についても、感染拡大防止に配慮しつつミニ面接会を 5 回、見学会を 2 回実施し、7 人の採用に結びついた。

(2) サービス改善・業務改善を図った事項

【求人充足サービス】

求人受理から数週間たっても応募者がない求人を週1回5件ピックアップし、求職者へ窓口での情報提供だけでなく、郵送や求職者マイページによる情報提供を行い、情報提供や紹介ができなかったとしても、求人票の内容についてより紹介しやすくするために気づいた点を求人部門にフィードバックする取り組みを行い、求職者の立場に立った分かり易い求人の作成や雇用管理指導等に活用した。

コロナ禍の中でも、人手不足である事業所は多数存在していることから、管内の地方自治体や商工会議所・商工会等と連携し、合同就職面接会を開催した。コロナ感染拡大防止のため、例年より参加企業を少なくしての開催となったが、13人が採用された。また、地域の特産品である"いちご"の生産者等からの要望に応え、JA(農業協同組合)と共催により就職面接会を実施し成果が得られた。

【高年齢者の就職促進】

高年齢者の就職促進を図るため、高年齢者に特化した求人情報コーナーを設置し、就職促進に取り組んだ。

【早期再就職の喚起】

コロナ感染拡大防止のため、従来の大人数を集めて行う雇用保険説明会を中止しているが、初回講習として少人数ごとに就職支援セミナーの 案内や再就職手当等早期再就職のメリットを伝えることにより早期再就職の喚起を行っている。

【求職者支援サービスの取組】

職業相談窓口での添削指導や個別面接トレーニングを実施するなどの業務改善を図った。また、新たに職業相談業務に就いた職業相談員に対し、資質の向上のためにロールプレイングを実施した。

(3) 今年度見えてきた課題とそれを踏まえた今後のサービス・業務改善の取組について

新規求職者の減少に伴い双方担当者制による職業相談を充実し提案型紹介の推進など職業相談における質の向上に取り組む。そのため、職員個々の質の向上のため、改めて、職業相談部門全員による事業所訪問(ツアー型面接会)を行い事業内容や求人票以外の情報、さらに、採用担当者等との意見交換により事業所ニーズを詳細に把握するなどして、マッチングの成果につながる求人充足サービスの取組を強化する。

また、求人充足サービス及び求職者支援サービスの一助として、ハローワークインターネットサービスにおける"マイページ"の活用を推進し、情報提供の効率化などマッチング強化に取り組む。

(4) その他業務運営についての分析等

求人充足サービスのための"ツアー型面接会"、"ミニ面接会"は、これまで一定の成果が得られたことから、内容等を充実するなどして引き続き取り組む。また、その際には可能な限りハローワーク職員も同行し、求人票には記載のない情報を積極的に収集するなどして、求人事業所の事業内容や求人内容への理解を深め、その得られた知識等は、求職者との職業相談の場面等で活用を図り、積極的な求人充足に取り組む。さらに、当所においては高齢求職者の割合が高いため、高年齢者層に特化したミニ面接会など創意工夫して実施する。

	就職件数	充足件数 (受理地)	雇用保険受給者 早期再就職件数	紹介率	ハローワークの職業紹介により、正社員に結びついた就職氷河期世代の合う安定就労者・無業者の件数	正社員求人数	正社員就職件数	所で選択して記載	所で選択して記載
令和3年度実績	1, 599	1, 426	424	91. 1%	204	4, 921	668		
過去3年度平均	1, 693	1, 536	507	99. 0%	128	5, 033	762		
R2年度実績	1, 455	1, 319	492	89. 8%	128	4, 276	614		
対 R2 比	109%	108%	86%	101%	159%	115%	108%		
R1年度実績	1, 744	1, 587	528	97. 6%	_	5, 169	796	_	
対 R1 比	91%	89%	80%	93%	_	95%	83%		
H30 年度実績	1, 880	1, 701	502	109. 5%	_	5, 653	875		
対 H30 比	85%	83%	84%	83%	_	87%	76%		

[※] 令和3年9月以降の実績は、就職件数は「(従来の)紹介就職」及び「オンライン紹介による就職」の合計件数、充足件数は「(従来の)紹介就職」、「オンライン紹介による就職」及び「オンライン自主応募による就職」によるハローワーク求人の充足件数の合計となっている。

ハローワーク矢板 就職支援業務報告(令和3年度)

1 所長による分析(業務運営の総括)

(1) 特に重点的に取り組んだ事項

・「正社員求人数」「正社員就職件数」及び「充足件数」を重点項目として、過年度より減少が続いている新規求職者数及び紹介件数の状況も踏まえ、求職者の窓口利用勧奨も念頭においた所独自の求職者向けの就職支援セミナーを実施した。更に登録数が低調であった求職者マイページの所内研修を実施した。来所時に案内だけではなくマイページ開設完了まで求職者と一緒に登録処理を行うことでマイページ開設件数は増加した。また、就職氷河期世代求人等の求人開拓及び求人者マイページの利用促進も積極的に実施したことで求人数の確保とあわせて求人マイページ登録数も増やした。

しかしながら、雇用調整助成金等の雇用維持支援策により雇用保険受給資格決定件数は減少する一方で、新規求職者における在職者の割合は増加した。正社員求人数は過去3年度実績平均数程度に回復したが、正社員就職件数及び充足件数は低調であった。

(2) サービス改善・業務改善を図った事項

- ・来所時に求職者マイページの案内だけではなく、マイページ開設完了まで一緒に登録処理を行うことで求職者のマイページ開設における手手続き軽減を図った。
- ・求職者の窓口利用勧奨も念頭においた所独自の求職者向けの就職支援セミナーを実施した。
- ・雇用保険受給者の早期再就職を図るため、雇用保険担当職員による職業相談部門への失業等給付制度の研修を実施した。初回認定日等における相談時には再就職手当シュミレーションシートを活用して受給者に対する早期再就職メリットの意識付けを図った。また、初回講習会については、開催回数を増やすことで1開催あたりの参加人数を少数に抑える等の新型コロナウイルス感染症防止策を徹底して開催した。コロナ禍においても雇用保険受給者へ確実に安定所支援メニュー等の周知を図った。
- ・ 高年齢求職者への支援としてシニア向け求人情報誌を月1回発行した。
- (3) 今年度見えてきた課題とそれを踏まえた今後のサービス・業務改善の取組について
- ・求職者マイページも含めた安定所を利用する求職者を増やすため、近隣所からの好事例を参考に安定所サービスの周知広報と利用勧奨を積極的に行う。

- ・相談窓口での個別支援強化を図るため、より機動的に実施ができる一方向型の求職者担当者制を積極的に実施する。また求職者の特性を踏まえ求職者マイページの開設・利用勧奨を行い、開設者へは積極的求人提案型紹介も積極的に実施する。
- ・県北エリア対象の職業訓練説明会については、県北地区中核所である大田原所と連携して開催を行い訓練受講者の確保に努める。

(4) その他業務運営についての分析等

- ・自治体との連携強化を図るため、年度当初に所長が管内2市1町に雇用状況のヒアリングに出向き、コロナ禍における雇用調整等の事業所の動きや実態の聴取、雇用調整助成金の活用周知を行うなど、就職支援での連携は迅速に実施できており、求職者の雇用の安定に努めることができた。さらに今後はイベント等での自治体との連携についても検討していきたい。
- ・管理課職員や相談員に対してカウンセリング研修を実施し、相談技法の向上のためロールプレイによる資質向上を図った。

	就職件数	充足件数 (受理地)	雇用保険受給者 早期再就職件数	紹介率	ハローワークの紹 介により、正社員 に結びついた就職 氷河期世代の不安 定就労者・無業者 の件数	正社員求人数	正社員就職件数	
令和3年度実績	1,129	894	237	104.4%	146	2,770	542	
過去3年度平均	1,263	1,043	312	121.0%	41	2,797	624	
R2年度実績	1,109	920	264	118.4%	41	2,514	526	
対 R2 比	101%	97%	89%	88%	356%	110%	103%	
R1年度実績	1,283	1,021	331	124.5%	_	2,992	645	
対 R1 比	87%	87%	71%	83%	_	92%	84%	
H30 年度実績	1,398	1,189	342	119.6%	_	2,885	700	
対 H30 比	80%	75%	69%	87%	_	96%	77%	

[※] 令和3年9月以降の実績は、就職件数は「(従来の)紹介就職」及び「オンライン紹介による就職」の合計件数、充足件数は「(従来の)紹介就職」、「オンライン紹介による就職」及び「オンライン自主応募による就職」によるハローワーク求人の充足件数の合計となっている。

ハローワーク大田原 就職支援業務報告(令和3年度)

1 所長による分析(業務運営の総括)

(1) 特に重点的に取り組んだ事項

① 各指標に対する取組

当所では、就職件数、充足件数、雇用保険受給者早期再就職件数の促進に向け、新型コロナウイルス感染の長期化を見据えた業務のオンライン化(以下オンライン「可」)の取組を重点的に行った。具体的には、雇用保険説明会、初回講習会、各種セミナー等が新型コロナウイルス感染症防止対策により中止又は短縮している影響に対応するため、本来窓口において実施している求職者及び求人者支援の内容についてオンライン「可」を進め、オンライン活用の要領・利用規約・操作マニュアルの作成及び整備を行った。また、周知リーフレットを用いて近隣所を含め積極的に周知を行ったことにより、オンライン職業相談(6回)、オンライン事業所見学会(1回)、オンライン講習・説明会(7回)などの実施により確実な実績に繋がっている。

・実績【就職件数 1764 件、充足件数 1753 件、雇用保険早期再就職数 482 件】

② 中長期的な職員の資質向上に向けた取組

当所では、毎月開催している職員会議及び全体会議において、適宜、業務の取組状況や課題、改善点等を伝えるとともに、全職員からの業務改善に係る提案を促している。さらに、就職支援ナビゲーター全員及び求人者支援員が参集して、時節の課題の改善に取り組むミーティング(「ナビタイム」)を毎月開催し、各担当が自ら取り組んでいる業務の状況を他の参加者に伝えることで個々の施策を他の担当に情報共有させ相乗効果を図り、所内全体の目標に率先して深く参画させて実績向上を図った。

また、所長が令和3年5月から6月に全非常勤職員に対して実施した個別ヒアリングにおいて、独自様式を用い個々に取り組むべき業務への理解度や目標達成に向けた具体的な方策及び所内で共有すべき業務や課題を聴取し、業務についての一定の平準化を行い、改善を図った。

(2) サービス改善・業務改善を図った事項

業務のオンライン「可」を行うため、オンラインに係る要領・利用規約・操作マニュアルを作成し、就職支援ナビゲーター及び求人者支援 員に対する研修を実施した。 さらに、利用者への理解促進を図る機会が少ないことや職業相談時にマイページを初めて利用する求職者対応には、登録するためのデータ処理等に多くの時間が費やされ、肝心の職業相談が非効率的なケースが散見されていた。このため、受付マニュアルを策定した上で、マイページ登録勧奨及び雇用保険の手続きをされる方(当面、雇用保険受給者対象)に対して、雇用保険受給者向け独自パンフレットを活用し、受付後の待ち時間に受付担当者が具体的な支援メニューの説明を行い、ハローワーク窓口の積極的な利用勧奨を実施している。また、この実施にあたり、相談窓口職員のうち複数名を受付主担当に選定し、具体的な支援メニューの内容や受付に必要な雇用保険制度等の説明業務に係る平準化を図るため、事前の研修を実施した。

(3) 今年度見えてきた課題とそれを踏まえた今後のサービス・業務改善の取組について

求職者マイページ利用率(令和4年3月末31.3%)が順調に推移しており、求人者マイページ利用率(同年3月末33.0%)を高めている、引き続き、オンラインハローワーク紹介やオンラインによる支援メニューの周知強化を図り、利用登録者の増加を図ることによりサービスの向上を目指すこととする。

(4) その他業務運営についての分析等

所重点指標の「生涯現役支援窓口の65歳以上の就職者数」については、新規求職者に占める中高年齢者の割合が高く、求職者ニーズも高いことから、個々の経験や技能・知識等の求職者ニーズに応える求人確保とマッチングに強化を図り、業務の推進を行った。

2 特記事項

求職者マイページ促進パンフフレット「ご存じですか?求職者マイページ」を作成し、裏面に「モバイル版使い方簡易ガイド」を掲載することにより、利用率向上に寄与している。さらにマイページ登録の利用促進を図るため、雇用保険部門において、交付する雇用保険被保険者離職票にカードサイズ版「ご存じですか?求職者マイページ」を添付するとともにポスター化した案内を窓口や庁舎内に掲示し周知を行った。また、マニュアル化したマイページ登録作業の支援を重点的に行い、オンライン業務の推進を図った。

	就職件数	充足件数 (受理地)	雇用保険受給者 早期再就職件数	紹介率	ハローワークの職業紹 介により、正社員に結 びついた就職氷河期世 代の不安定就労者・無 業者の件数	正社員求人数	正社員就職件数	生涯現役支援窓口 での 65 歳以上の就 職件数
令和3年度実績	1,764	1,753	482	95.2%	258	4,731	744	60
過去3年度平均	2,062	1,982	548	104.0%	107	4,289	899	65
R2年度実績	1,805	1,764	465	101.0%	107	3,905	792	59
対 R2 比	97%	99%	103%	94%	241%	121%	93%	101%
R1年度実績	2,123	2,019	619	104.7%	-	4,229	872	70
対 R1 比	83%	86%	77%	90%	_	111%	85%	85%
H30 年度実績	2,258	2,163	561	106.3%	-	4,732	1,032	-
対 H30 比	78%	81%	85%	89%	_	99%	72%	_

[※] 令和3年9月以降の実績は、就職件数は「(従来の)紹介就職」及び「オンライン紹介による就職」の合計件数、充足件数は「(従来の)紹介就職」、「オンライン紹介による就職」及び「オンライン自主応募による就職」によるハローワーク求人の充足件数の合計となっている。

ハローワーク小山 就職支援業務報告(令和3年度)

1 所長による分析(業務運営の総括)

(1) 特に重点的に取り組んだ事項

① 各指標に対する取組

当所では、新規求人数がコロナ禍前の水準に戻らない状況の中、求職者ニーズに合った求人確保及び求人充足対策を重点課題と捉え、事業所訪問による求人開拓、求人事業所部門と職業相談部門の連携による充足会議の開催、求人担当者制による求人条件緩和指導、充足会議と連動したミニ面接会等を実施するとともに、あらたに次の求人充足対策の取組を行った。

【求人条件緩和指導】

求職者に対して実施したアンケート結果に基づき求職者のニーズを取りまとめた資料を作成し、また、直近3ヶ月の求人応募実績を分析したグラフを毎月作成し、充足が進まない事業所に対する内容見直し提案の資料として、新規求人開拓及び条件緩和指導を行った。さらに、職業相談部門において把握した求職者ニーズを「求職者の声」として求人・事業所部門と共有を図り、新規求人開拓及び求人条件緩和指導を行った。

【事業所情報の見える化】

事業所訪問時などを活用し、画像情報を含んだ「PRシート」の作成を提案し、提出されたシートは、玄関ホールに求人票と併せて一定期間掲示し、求人票だけでは伝わりづらい情報を求職者へ積極的にPRし求人充足を図った。

② 中長期的な職員の資質向上に向けた取組

・問題解決サービス向上のため、職業安定部主催の応募書類(履歴書、職務経歴書等)作成支援研修に参加し、後日、参加者が講師となり、若 手職員、職業相談員に対して、複数回に分けて応募書類の作成支援の伝達研修を実施し、応募書類作成支援に係るスキルの向上を図った。

(2) サービス改善・業務改善を図った事項

・ハローワークの各コーナー(マザーズコーナー、わかもの支援コーナー、生涯現役支援窓口、学卒窓口等)において開催しているイベント (就職支援セミナー、面接会等)については、ポスター掲示、案内用リーフレットの郵送、労働局ホームページへの掲載、関係機関が発行す る広報紙への掲載等により周知・案内を行っているが、ハローワークが実施している支援サービスメニュー及びイベント情報等が必要な者に 広く行き渡るよう情報発信の強化を図る必要がある。そのため、ハローワークに来所しなくても必要な情報を得られるよう、求職者マイページ、求人者マイページを活用した情報提供と併せて、令和3年11月1日からハローワーク小山公式LINEを開設し、LINEを活用した情報発信を実施し、ハローワーク利用者及びイベント参加者の増加のための工夫を行った。

・非正規雇用で働く外国人求職者が増加傾向にあり、通訳及び翻訳機器を活用して相談支援を行っているが、外国人求職者は家族や知人など と複数人で来所するケースも多く、相談窓口が狭隘で不便をきたしており改善を図る必要がある。そのため、外国人求職者対象の相談窓口の レイアウト変更を行い、通訳を交えた複数人での相談がスムーズに行えるよう、またプライバシーが守られるよう十分なカウンタースペース を確保し環境改善を図り、きめ細やかな相談支援を実施した。

(3) 今年度見えてきた課題とそれを踏まえた今後のサービス・業務改善の取組について

求人・求職の状況については、前年度と比較すると、新規求人数は増加傾向で推移し、一方新規求職者は減少傾向で推移しており、求職者の減少に比例するように紹介件数(紹介率)が前年比減少している。要因としては、ハローワークの相談窓口を利用する者の減少が上げられる。求人情報は、ハローワークインターネットサービス以外にもインターネットで検索できるため、求職者は、ハローワークの窓口を利用せず検索した求人に対して直接応募するケースが見られる。システム刷新による求職者マイページ開設により(令和3年9月から開始)、ハローワークに来所しなくても、オンラインにより紹介を受けることができるようになったが、求職者マイページ開設率が低調のため、オンラインハローワーク紹介に至らないケースがある。今後は、新規求職登録の機会を捉え、積極的に求職者マイページの開設のメリットを説明のうえ開設を促し、来所が難しい在職者に対しても求職者マイページを活用した情報提供を行い、オンラインハローワーク紹介に結びつけ紹介件数・紹介率の向上を図る。また職員の能動的マッチングに係るスキル向上を図るため、提案型紹介、応募書類の作成支援、面接対策等の精度を上げる研修等を継続的に実施する。

(4) その他業務運営についての分析等

当所では、今年度よりオンライン職業相談を、障害者及びマザーズコーナーにおける支援対象者を中心に実施しているが、今後の利用拡大を図るため、周知方法や効率的・効果的な運用に向けて実施状況の検証・分析を行っている。また、今年度、初めて大学等卒業予定者を対象としたオンラインによる「グループディスカッションの演習」、「合同企業説明会」を実施した。運用面においていくつかの課題も見られ、実施アンケート結果に基づき、効果的なオンライン説明会等になるよう必要な改善を図る。

	就職件数	充足件数 (受理地)	雇用保険受給者早期再就職件数	紹介率	ハローワークの職業紹介により、正社員に結びついた就職氷河期世代の不安定就労者・無業者の件数	正社員求人数	正社員就職件数	生活保護受給者等 の就職率	
令和3年度実績	2,516	2,351	902	104.9%	363	10,752	1,287	73.3%	
過去3年度平均	3,099	2,743	930	116%	163	11,937	1,610	62.0%	
R2年度実績	2,629	2,420	931	105.9%	163	10,626	1,347	48.8%	
対 R2 比	95%	97%	96%	99%	222%	101%	95%	150%	
R1年度実績	3,147	2,716	927	114.7%	_	12,119	1,612	69.5%	
対 R1 比	79%	86%	97%	91%	-	88%	79%	105%	
H30 年度実績	3,521	3,094	932	127.4%	-	13,066	1,871	67.4%	
対 H30 比	71%	75%	96%	82%	_	82%	68%	108%	

[※] 令和3年9月以降の実績は、就職件数は「(従来の)紹介就職」及び「オンライン紹介による就職」の合計件数、充足件数は「(従来の)紹介就職」、「オンライン紹介による就職」及び「オンライン自主応募による就職」によるハローワーク求人の充足件数の合計となっている。

ハローワーク日光 就職支援業務報告(令和3年度)

- 1 所長による分析(業務運営の総括)
 - (1) 特に重点的に取り組んだ事項
 - ① 各指標に対する取組

当所では、「就職件数」「充足件数」を最重要と考え、取組を行いました。

「就職件数」については、コロナ禍の中ではありますが、感染拡大防止に配慮しつつ所内ミニ面接会を積極的に開催しました。具体的には面接会を 11 回開催し、延べ参加者数が 33 名、うち就職者が 4 名となりました。なお、面接会の開催に当たり、毎回担当者を決め、担当者が求職者への参加勧奨から求人者へのフォローアップ(参加者が低調な場合に、求職者が参加しない理由を求人者に説明し、求人条件の緩和を促すなど)までを一体的に実施しました。また、1 月に日光市との連携により合同就職説明会・面接会を開催する方向で準備を進めておりましたが、新型コロナ感染拡大を受け、直前で中止しました。但し、既に参加申込があった求職者については、事業所において個別に面接を行い、7 社 9 名が採用となりました。

一方、「充足件数」については、管内の主要産業である観光業の求人充足を図るため、住み込み可能求人の一覧を作成し、首都圏のハローワークに送付することで積極的な情報提供を行いました。

また、「就職件数」「充足件数」双方に関わるものとして、「マッチング機能の向上」を図るため、求人担当者と職業相談担当者との間で共通のフリーワードを設定し、求人担当者は職業相談担当者が求人を検索しやすいことを念頭に求人を受理するとともに、職業相談担当者は当該フリーワードを活用し求職者のニーズに合った求人情報の提供を行いました。

② 中長期的な職員の資質向上に向けた取組

当所では、中長期的な職員の育成を図る観点から、労働契約法・労働者派遣法に関する所内研修を実施しました。また、他のハローワークから講師を招き、求人者マイページに関する研修を実施しました。

(2) サービス改善・業務改善を図った事項

新型コロナ感染拡大防止の観点もあり、ハローワークに来所しなくても求人を提出することができる求人者マイページの利用 増加を図るため、求人者マイページ開設事業所には求人の更新案内をマイページ上に送付するなど、サービス向上に努めました。 (3) 今年度見えてきた課題とそれを踏まえた今後のサービス・業務改善の取組について

当所では、求職者の高齢化が進んでいることを踏まえ、高齢求職者のニーズを職業相談部門の担当者が把握し、その内容を求人担当者にフィードバックすることで、新規求人の開拓や求人条件の緩和に繋げる取組を実施する予定です。

(4) その他業務運営についての分析等

令和3年度は、管内の主要産業である観光業が、新型コロナウイルス感染拡大の影響により大きな打撃を受けている状況であり、雇用調整助成金の申請が高止まりしている状況でありました。長引く休業等からより良い労働条件での就職を希望する求職者もいることから引き続き求職者ニーズに合った求人の確保に努めてまいります。

	就職件数	充足件数 (受理地)	雇用保険受給者 早期再就職件数	紹介率	ハローワークの職業紹介により、正社員に結びついた就職氷河期世代の不安定就労者・無業者の件数	正社員求人数	正社員就職件数	
令和3年度実績	1,215	961	259	104.2%	139	2,850	524	
過去3年度平均	1,363	1,150	275	118.0%	101	3,134	614	
R2年度実績	1,238	1,044	265	113.0%	101	2,933	551	
対 R2 比	98%	92%	97%	92%	137%	97%	95%	
R1年度実績	1,398	1,154	262	116.2%	_	3,275	658	
対 R1 比	86%	83%	98%	89%	_	87%	79%	
H30 年度実績	1,453	1,252	299	125.1%	-	3,193	633	_
対 H30 比	83%	76%	86%	83%	_	89%	82%	

[※] 令和3年9月以降の実績は、就職件数は「(従来の)紹介就職」及び「オンライン紹介による就職」の合計件数、充足件数は「(従来の)紹介就職」、「オンライン紹介による就職」及び「オンライン自主応募による就職」によるハローワーク求人の充足件数の合計となっている。

ハローワーク黒磯 就職支援業務報告(令和3年度)

- 1 所長による分析(業務運営の総括)
 - (1) 特に重点的に取り組んだ事項
 - ① 各指標に対する取組

当所では、管内事業所の人材確保を図るため、各指標のうち「求人の充足数」を最重点に以下の取り組みを行いました。

- ○画像情報の収集
 - ・求人事業所の見える化を図り求職者の仕事理解を深めるため、事業所の外観や作業風景を画像にして提供する取り組み目標を年間48事業所計画し、実績52事業所の画像情報を収集しました。
 - ・収集した画像情報は、「見ればわかる!!フォト&求人票コーナー」を設置し、「求人票早見シート」に画像情報をプラスして掲示しました。

求人票でなく「求人早見シート」を掲示することとした理由は、求人票より視覚的インパクトのある早見シートを掲示することで、 求職者の興味を引き応募につなげようとしたためで、求人者・求職者のマッチングに一定の効果を上げています。

- ○ミニ面接会
 - ・ミニ面接会の開催は、求人の充足数に影響するばかりでなく求職者の早期再就職につながる取り組みとして、年間24回の開催を目標に計画しましたが、新型コロナウイルス感染症の影響もあり20回の開催にとどまりました(参加者59人、うち採用者8人)。
 - ・参加事業所には、面接に拘らず関心を持つ求職者には会社概要や仕事内容の説明を依頼し、雇用機会提供の場となるよう工夫しました(参加者 59 人のうち説明のみ 35 人)。
- ② 中長期的な職員の資質向上に向けた取組
 - ・当所では、職業相談担当者の資質向上及び見識を深めるための研修として、栃木労働局職業安定課主催のキャリアコンサルティング 研修及び厚生労働省オンライン研修(LGBT等性的マイノリティに関する職員研修)、就職支援セミナーに職員を参加させました。

(2) サービス改善・業務改善を図った事項

- ○求職者マイページの登録促進
 - ・当所においては求職者マイページの登録者数が伸びないことから、他局・他所の取り組みを参考に、所独自リーフレット「求職者マイページのご案内」を作成し、取り組みを強化しました。
 - ・リーフレットの作成にあたっては、開設手順のみに特化した内容とし、紙面の印象を柔らかくするための工夫として、ご当地キャラクターを掲載し、令和4年1月から使用しています。
- ○求人情報「シニア情報誌」の作成
 - ・当所の求職者は高齢者の方が多く、有効求職者のうち65歳以上の求職者を占める割合は13.7%と非常に高いため、高齢者を対象にした求人情報誌を発行することとしました。
 - ・高齢者の中には、パソコン操作が不得手な方も多いため、簡易な求人検索パソコンの操作やインターネット検索に抵抗感がある方も 多く、紙ベースでの情報誌は好評を得ています。
- (3) 今年度見えてきた課題とそれを踏まえた今後のサービス・業務改善の取組について
 - ○職員研修の充実
 - ・職員研修の充実は、職員の資質向上を図ることはあらゆる業務の基本であり重要であるため、求人者支援員が事業所を訪問する際に窓口職員を同行させ、仕事内容や求人者の考え等を把握するなどして、マッチング向上を図る取り組みを進めます。
 - ・また、訓練施設等の関係機関が開催する施設説明会等に当所職員を出席させ、職員の知識の向上を図り業務の推進に取り組みます。
- (4) その他業務運営についての分析等
 - ○管内自治体との連携
 - ・管内の那須塩原市・那須町とは、定期訪問による情報交換や各種会議等に出席するなどして、連携を図りました。
 - ・那須塩原市は栃木労働局と雇用対策協定を締結しているため、当所と那須塩原市では誘致企業の情報共有をはじめ、当該企業の求人 募集からミニ面接会による採用支援など、適宜、連携を密に業務を行いました。
 - ○関係機関との連携
 - ・当所管内には栃木県立県北産業技術専門校が設置されているため、職業訓練制度や受講生募集の周知を連携して行うとともに、受講者に対する就職支援についても連携して取り組みました。

2 特記事項

当所の基幹産業である宿泊業、飲食サービス業等においては新型コロナウイルス感染症の影響により、令和2年1月(令和元年度)から令和3年2月(令和2年度)にかけて、新規求人数、有効求人数とも大きく減少しましたが、令和3年度には、新規求人数7,790人(対前年比9.5%増)、有効求人数21,933人(対前年比12.1%増)で、いずれも増加に転じました。

	就職件数	充足件数 (受理地)	雇用保険受給者 早期再就職件数	紹介率	ハローワークの 職業紹介により正 社員に結びついた 就職氷河期世代の 不安定就労者・無 業者の件数	正社員求人数	正社員就職件数	
令和3年度実績	1,214	1,084	319	93.1%	137	3,487	497	
過去3年度平均	1,493	1,434	376	105.0%	55	3,648	667	
R2年度実績	1,231	1,208	331	96.9%	55	3,204	508	
対 R2 比	98%	89%	96%	96%	249%	108%	97%	
R1年度実績	1,459	1,411	355	107.0%	_	3,608	658	
対 R1 比	83%	76%	89%	87%	_	96%	75%	
H30 年度実績	1,789	1,682	442	110.6%	_	4,133	835	_
対 H30 比	67%	64%	72%	84%	_	84%	59%	

[※] 令和3年9月以降の実績は、就職件数は「(従来の)紹介就職」及び「オンライン紹介による就職」の合計件数、充足件数は「(従来の)紹介就職」、「オンライン紹介による就職」及び「オンライン自主応募による就職」によるハローワーク求人の充足件数の合計となっている。